

交付運用報告書

スーパーファンド・ジャパン サブファンド・グリーン、サブファンド・グリーンC

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て、米ドル建て）
作成対象期間（第17期）：自 2025年1月1日 至 2025年12月31日

～ 受益者の皆様へ ～

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当サブファンドは、オーストリア・ウィーンにて創立されたスーパーファンドグループの、外国籍公募投資信託です。
ケイマン諸島における分別ポートフォリオを運用する適用免除有限責任会社として登録され、投資会社としてのみ活動するマスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドへの投資を通じて、証券市場の動静から独立した投資形態を投資家の皆様に提供するために設立されました。スーパーファンドの投資顧問会社であるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インクによる、トレーディング・ソフトウェアを使用した最新の取引システムに基づき、マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドは運用されます。
ここに、当サブファンドの第17期の運用状況等についてご報告申し上げます。サブファンド「グリーンC」は、2026年7月1日付でサブファンド「トレンド」（2026年6月30日までの名称はサブファンド「グリーン」）に統合されました。本報告書の「グリーンC」の情報は統合前のものを参考までに記載しています。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	第 17 期末							
	サブファンド・グリーン						サブファンド・グリーンC	
	円・クラス	米ドル・クラス	ゴールド円・クラス	ゴールド米ドル・クラス	シルバー円・クラス	シルバー米ドル・クラス	円・クラス	米ドル・クラス
1口あたり純資産価額	50.07円	0.58米ドル	235.67円	1.52米ドル	179.69円	1.70米ドル	36.39円	0.38米ドル
純 資 産 総 額	303百万円	74万米ドル	1,249百万円	94万米ドル	265百万円	23万米ドル	47百万円	42万米ドル
騰 落 率	第 17 期							
	+14.60%	+18.37%	+81.98%	+83.13%	+114.48%	+115.19%	+9.97%	+15.15%
	1口当たり分配金額	0円	0米ドル	0円	0米ドル	0円	0米ドル	0米ドル

- (注1) 純資産総額は、1口あたり純資産価額に、当期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書（全体版）に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。
(注2) 騰落率は、税引前の分配金（もしあれば）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。
(注3) 1口当たり分配金額（もしあれば）は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

その他記載事項

運用報告書（全体版）は代行協会のウェブサイト（<https://www.superfund.co.jp>）にて電磁的方法により提供しており、「ドキュメント」において閲覧及びダウンロードすることができます。

※ 当サブファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【管理会社】

【代行協会員】

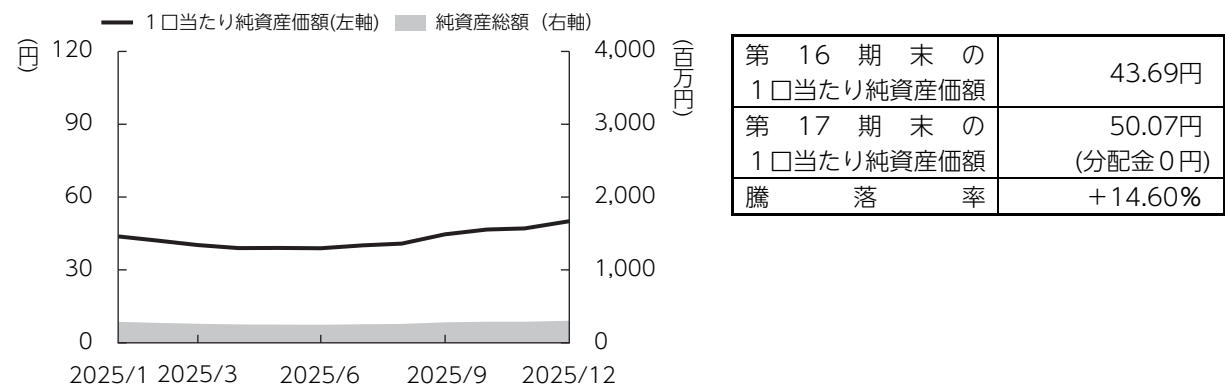
スーパーファンド・ジャパン・
トレーディング（ケイマン）リミテッド

スーパーファンド・ジャパン株式会社

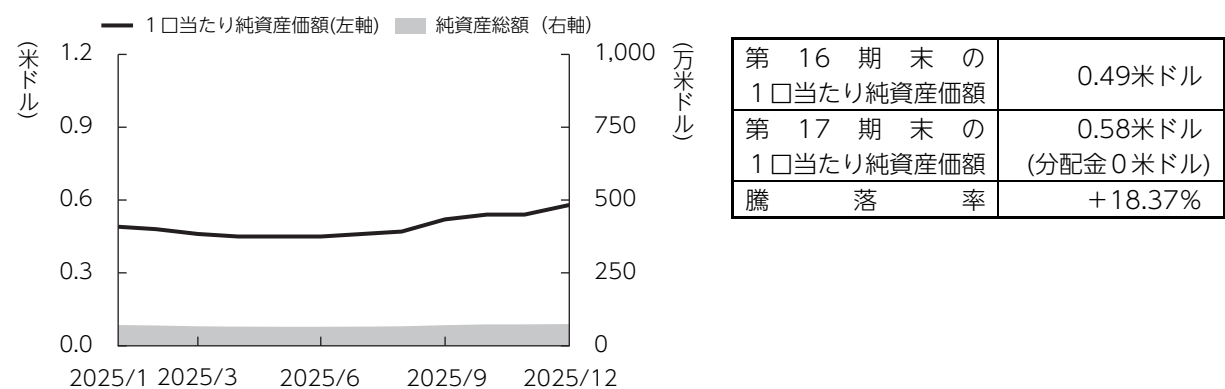
運用経過

■ 当期の1口当たり純資産価額等の推移について (2025年1月1日～2025年12月31日)

■ サブファンド・グリーン 円・クラス

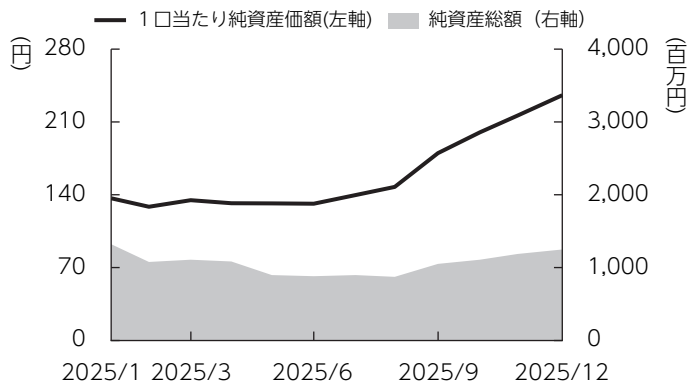


■ サブファンド・グリーン 米ドル・クラス



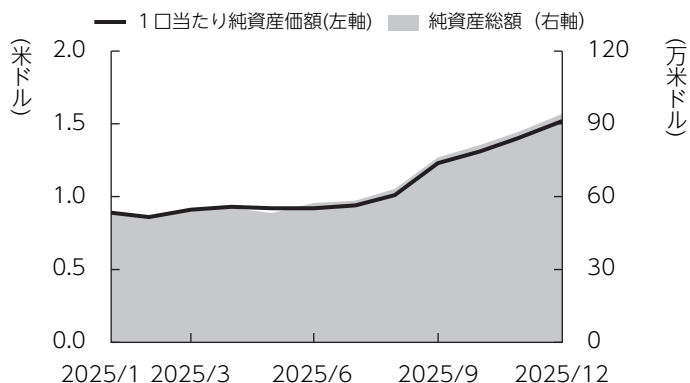
(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。
(注2) 騰落率は、第16期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。
(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

サブファンド・グリーン ゴールド円・クラス



第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額	129.50円
第 17 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	235.67円
騰 落 率	+81.98%

サブファンド・グリーン ゴールド米ドル・クラス



第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.83米ドル
第 17 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0米ドル)	1.52米ドル
騰 落 率	+83.13%

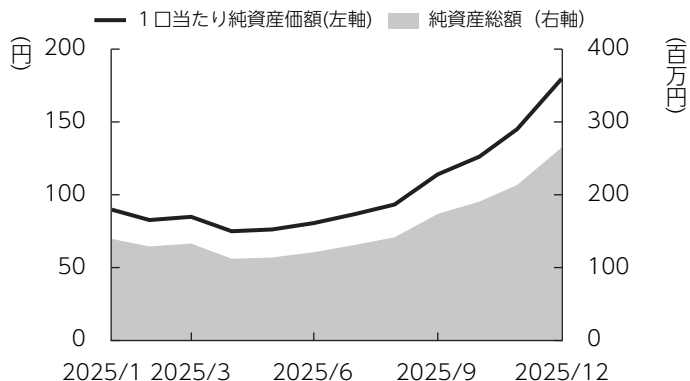
(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 騰落率は、第16期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

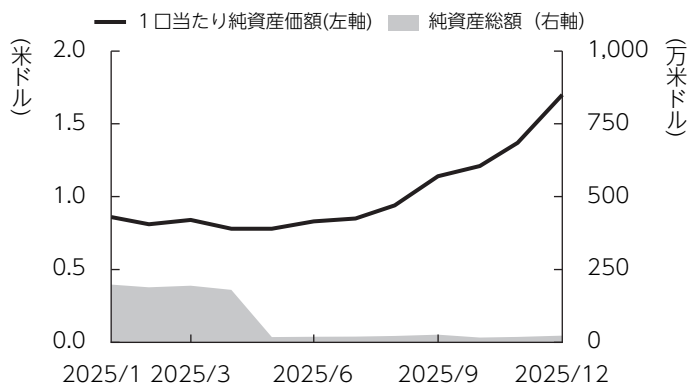
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

サブファンド・グリーン シルバー円・クラス



第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額	83.78円
第 17 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	179.69円
騰 落 率	+114.48%

サブファンド・グリーン シルバー米ドル・クラス



第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.79米ドル
第 17 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0米ドル)	1.70米ドル
騰 落 率	+115.19%

(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

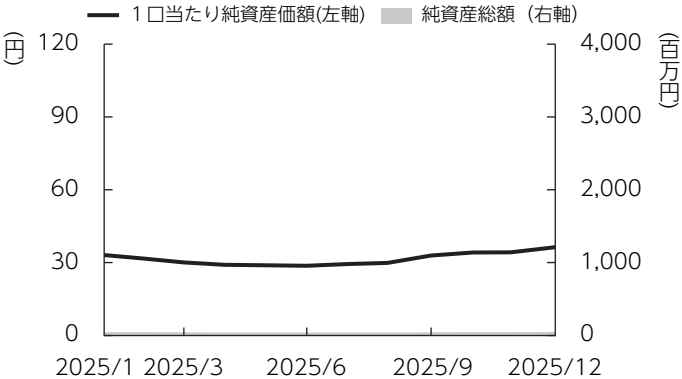
(注2) 騰落率は、第16期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

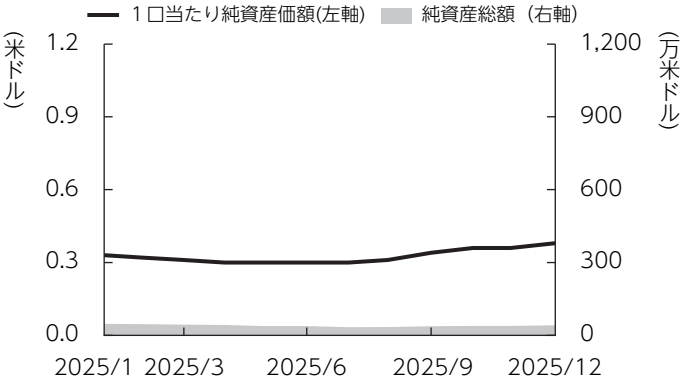
参考（2026年7月1日付にてサブファンド「トレンド」（旧名称：「グリーン」）に統合済み）

サブファンド・グリーンC 円・クラス



第 16 期 末 の 1 口当たり純資産価額	33.09円
第 17 期 末 の 1 口当たり純資産価額	36.39円 (分配金 0 円)
騰 落 率	+9.97%

サブファンド・グリーンC 米ドル・クラス



第 16 期 末 の 1 口当たり純資産価額	0.33米ドル
第 17 期 末 の 1 口当たり純資産価額	0.38米ドル (分配金 0 米ドル)
騰 落 率	+15.15%

(注 1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では 1 口当たり純資産価額のみを記載しています。
(注 2) 騰落率は、第16期末の 1 口当たり純資産価額との比較において計算しています。
(注 3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注 4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

■ 1 口当たり純資産価額の主な変動要因

【円・クラス、米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当サブファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

【ゴールド円・クラス、ゴールド米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当サブファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。加えて、金価格の上昇によりキャピタルゲインが生まれ、下落によりキャピタルロスが生まれます。さらに、円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

【シルバー円・クラス、シルバー米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当サブファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。加えて、銀価格の上昇によりキャピタルゲインが生まれ、下落によりキャピタルロスが生まれます。さらに、円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

■ 費用の明細（2025年1月1日～2025年12月31日）

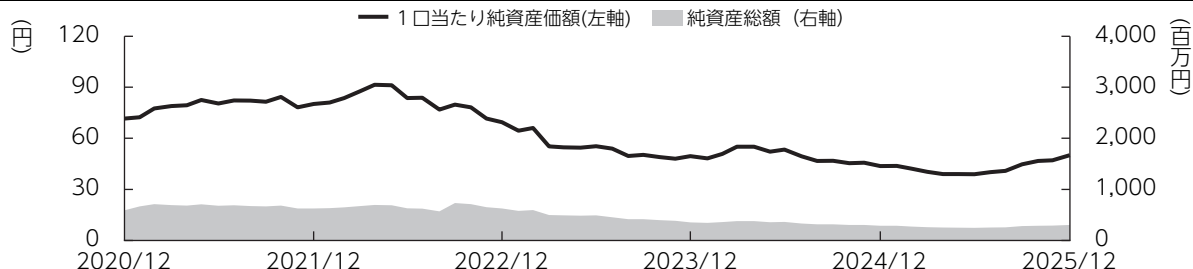
項 目		比率又は金額	項 目 の 概 要
管 理 報 酬		各サブファンドの純資産価額の年率0.10%	受託会社、事務管理会社及びカストディアンその他の者との間のやりとり、当サブファンドの活動に関連する契約の管理、申込及び償還を含む投資活動の運用管理の対価
代 行 協 会 員 報 酬		各サブファンドの純資産価額の年率0.10%	日本の法令及び日本証券業協会の規則に従い、受益者への目論見書や財務書類を送付し、純資産価額を公表する等の業務に対する報酬
受 託 会 社 報 酬		各サブファンドにつき年間11,000米ドル	信託証書に従って行う当サブファンドの受託業務に対する報酬
事 務 管 理 報 酬	当 ファ ン ド の 事 務 管 理 及 び 振 替 代 行 報 酬	サブファンド「グリーン」：年間5,400米ドル サブファンド「グリーンC」：年間5,400米ドル	各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込に係る契約及び申込の受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価
	年次財務諸表の作成	当ファンドにつき年間1,500米ドル	関連する規制に則した年次財務諸表（監査済み）の作成及びその補助の対価
そ の 他 の 費 用 （ 当 期 ）		1.02%	監査費用、その他信託事務の処理に要する諸費用

（注1）各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額を当サブファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

（注2）各項目の費用は、サブファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

■ 最近5年間の1口当たり純資産価額等の推移について (2020年12月31日～2025年12月31日)

サブファンド・グリーン 円・クラス



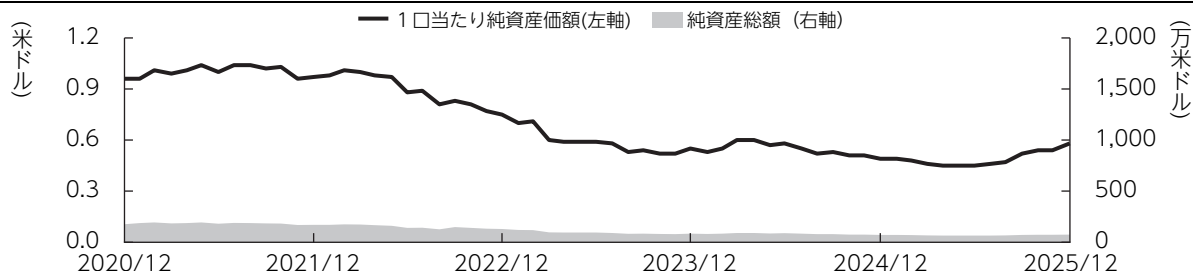
	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日	第17期末 2025年 12月31日
1口当たり純資産価額(円)	71.56	80.12	69.48	49.55	43.69	50.07
1口当たり分配金額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+1.37	+11.96	△13.28	△28.68	△11.83	+14.60
純資産総額(百万円)	591	627	626	353	287	303

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン 米ドル・クラス



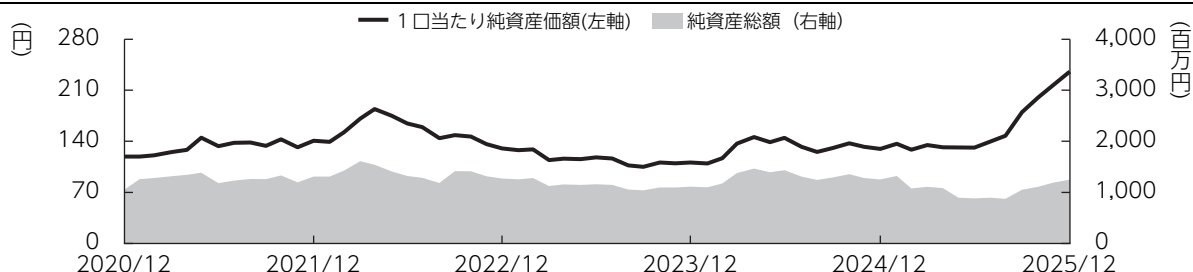
	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日	第17期末 2025年 12月31日
1口当たり純資産価額(米ドル)	0.96	0.97	0.75	0.55	0.49	0.58
1口当たり分配金額(米ドル)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+6.67	+1.04	△22.68	△26.67	△10.91	+18.37
純資産総額(万米ドル)	176	170	129	83	71	74

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン ゴールド円・クラス



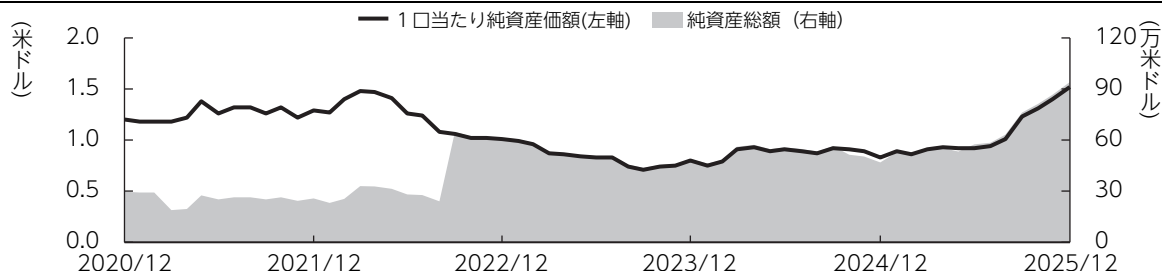
	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日	第17期末 2025年 12月31日
1口当たり純資産価額(円)	118.95	140.71	130.32	110.95	129.50	235.67
1口当たり分配金額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+16.18	+18.29	△7.38	△14.86	+16.72	+81.98
純資産総額(百万円)	1,058	1,308	1,271	1,112	1,252	1,249

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン ゴールド米ドル・クラス



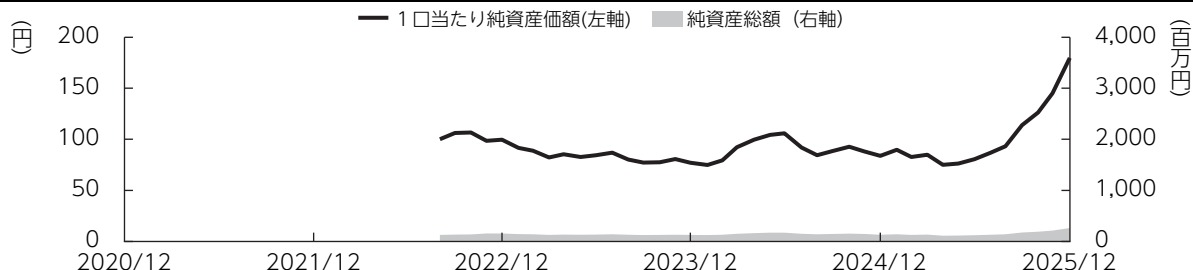
	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日	第17期末 2025年 12月31日
1口当たり純資産価額(米ドル)	1.20	1.29	1.01	0.80	0.83	1.52
1口当たり分配金額(米ドル)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+22.45	+7.50	△21.71	△20.79	+3.75	+83.13
純資産総額(万米ドル)	30	24	61	49	47	94

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

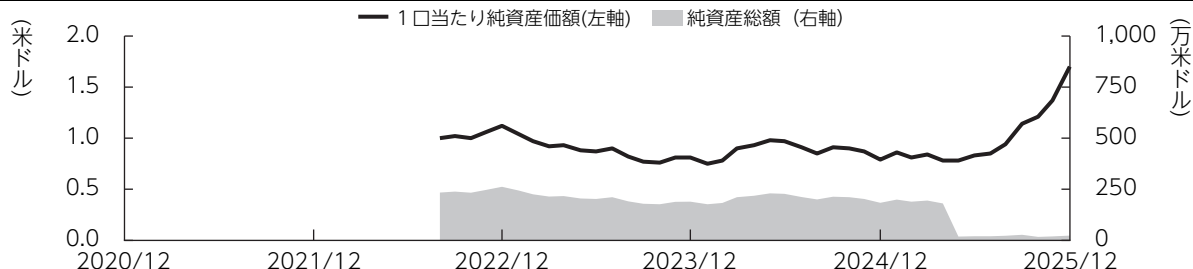
サブファンド・グリーン シルバー円・クラス (ファンドの運用は2022年9月から開始)



	シルバー円・クラス設定時 2022年 9月1日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日	第17期末 2025年 12月31日
1口当たり純資産価額(円)	100	99.55	76.99	83.78	179.69
1口当たり分配金額(円)	—	0	0	0	0
騰落率(%)	—	△0.45	△22.66	+8.82	+114.48
純資産総額(百万円)	127	155	127	130	265

- (注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。
- (注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。
- (注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。
- (注4) 当クラスは2022年9月より運用が開始されたため、2022年8月以前の情報がありません。そのため、第14期末時点の騰落率につきましては、クラス設定時との比較において計算しています。

サブファンド・グリーン シルバー米ドル・クラス (ファンドの運用は2022年9月から開始)

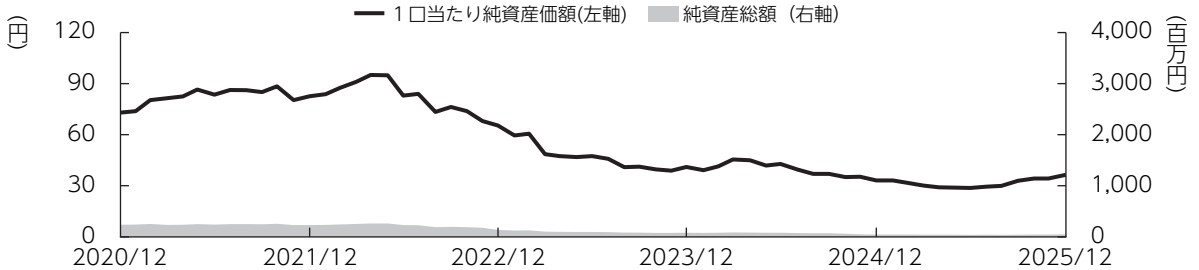


	シルバー米ドル・クラス設定時 2022年 9月1日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日	第17期末 2025年 12月31日
1口当たり純資産価額(米ドル)	1.00	1.12	0.81	0.79	1.70
1口当たり分配金額(米ドル)	—	0	0	0	0
騰落率(%)	—	+12.00	△27.68	△2.47	+115.19
純資産総額(万米ドル)	233	262	189	183	23

- (注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。
- (注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。
- (注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。
- (注4) 当クラスは2022年9月より運用が開始されたため、2022年8月以前の情報がありません。そのため、第14期末時点の騰落率につきましては、クラス設定時との比較において計算しています。

参考 (2026年7月1日付にてサブファンド「トレンド」 (旧名称:「グリーン」) に統合済み)

サブファンド・グリーンC 円・クラス

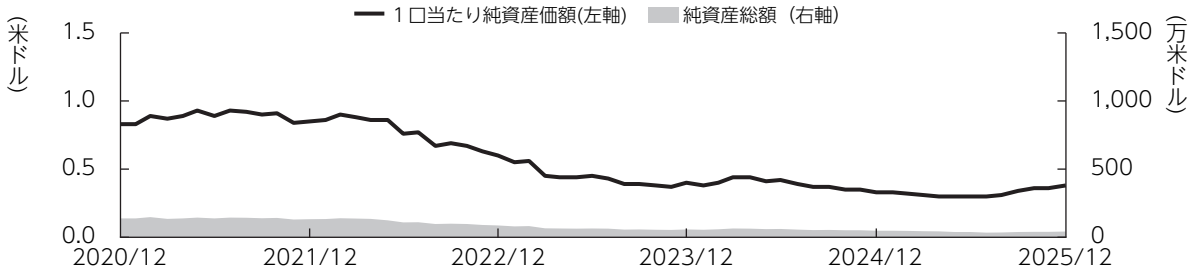


(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーンC 米ドル・クラス



(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

■ 投資環境について

2025年の世界の金融市場は、ボラティリティの上昇に特徴づけられました。通商政策の変化、金融政策に関する不確実性、地政学的緊張が、投資家心理の急速な変動を引き起こしました。ドナルド・トランプ氏の大統領復帰が全体の基調を形成し、財政拡張や保護主義政策への期待が各資産クラスの動向に大きな影響を与えました。米国株式市場は、テクノロジー及び小型株セクターの上昇に支えられ、相対的な強さを示しました。一方、欧州市場は、低成長やフランス及びドイツの政治的不安定性を背景に出遅れました。債券市場は、中央銀行がインフレリスクと景気減速の間で難しい判断を迫られたことから、変動の大きい展開となりました。特に日本では、日本銀行が前年7月以来初めて政策金利を引き上げ、当初0.5%、その後0.75%と、過去30年間で最高水準に達した点が注目されました。コモディティ市場も大きく変動しました。原油価格は1月に一時1バレル75米ドルを上回りましたが、年末には約57米ドルで終了しました。一方で金は安全資産需要の高まりを受け、繰り返し過去最高値を更新しました。為替市場では、経済の分化が反映され、米ドルは年初に強含みましたが、その後は下落しました。デジタル資産も、規制動向やリスク選好の変化により大きく変動しました。

■ ポートフォリオについて

＜当サブファンド＞

当サブファンドは、マスターファンドへの投資によって当該マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。結果、マスターファンドへの投資比率は、概ね95%以上を維持しました。

＜マスターファンド＞

マスターファンドは、アンダーライニング・マスターファンドへの投資によって当該アンダーライング・マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。

＜アンダーライニング・マスターファンド＞

アンダーライニング・マスターファンドは、主に世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引等に投資しました。トレンドフォロー戦略を中心としたマネージドフューチャーズ戦略により、下記8つのセクターそして約150の様々な指数を投資対象に分散投資しました。

【株式指数】 【債券】 【通貨】 【金利】 【金属】 【穀物】 【農作物】 【エネルギー】

上記「投資環境について」にもある通り、2025年の世界の金融市場は、大きくボラティリティが上昇しました。

ボラティリティの上昇は、各マーケットのトレンドを発生させ、マネージドフューチャーズ戦略のパフォーマンスの向上に寄与しました。また、金価格は安全資産需要により3月に1オンス3,000ドルを超え、その後は4,000ドルに迫る水準まで上昇しました。銀価格も工業需要とインフレ懸念に支えられて好調でした。結果、当ファンドは堅調な運用実績を実現し、特に金価格・銀価格に連動するゴールドクラス・シルバークラスは、高いパフォーマンスを実現することができました。

■ ベンチマークとの差異について

当サブファンドにはベンチマーク及び参考指数はありません。

■ 分配金について

当サブファンドには分配金はありません。

今後の運用方針

サブファンド・グリーンCは、2026年7月1日付でサブファンド・グリーンへ統合され、サブファンド・グリーンCの各クラスは対応するサブファンド・グリーンの同一の投資目的を追求する各クラスに統合されました。また同日付で、サブファンド・グリーンはサブファンド・トレンドへ名称変更されました。サブファンド・トレンドはこれまでの運用方針と同様の戦略によって運用されるマスターファンドへの投資によって、引き続き同様の投資目的を追求します。

お知らせ

上述のように、サブファンド・グリーンCは2026年7月1日付でサブファンド・トレンド（旧名称：グリーン）へ統合され、信託の運用が終了しました。
また、2026年4月17日付で、当ファンドの受託会社の社名がハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッドから、アセンティウム（ケイマン）リミテッドに変更されました。

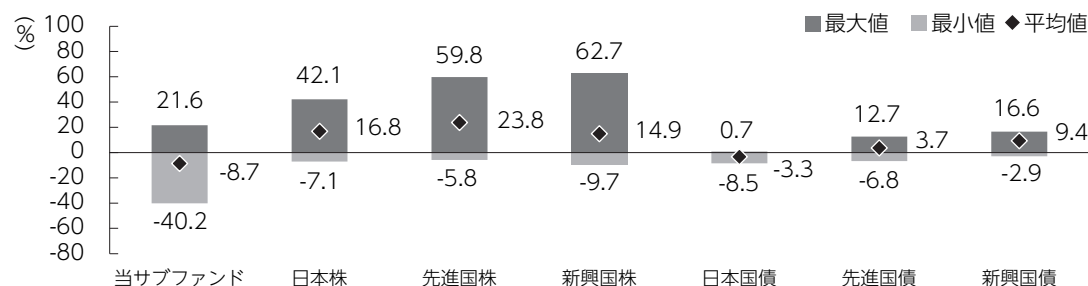
当サブファンドの概要

ファンド形態	ケイマン籍 オープンエンド契約型外国投資信託（円建て、米ドル建て）	
信託期間	信託設定日は2009年6月5日、償還日は設定日から150年後	
運用方針	マスターファンドの投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルに基づいて投資活動を行います。 マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものではなく、またいかなる制限を受けるものでもありません。マスターファンドの投資顧問会社は、アンダーライング・マスターファンドが上場先物及び店頭デリバティブ（外国為替取引を含みます。）の取引においてレバレッジを用いることにより高い収益が見込めると判断したときに、レバレッジを利用することができます。	
主要投資対象	当サブファンド	スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC及びスーパーファンド・グリーンSPC（2026年6月1日以降は「スーパーファンド・トレンドSPC」との名称）
	マスターファンド	スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC、スーパーファンド・グリーン・マスター（2026年6月1日以降は「スーパーファンド・トレンド・マスター」との名称）、現金及び銀先物
	アンダーライング・マスターファンド	世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引（株価指数、債券、通貨、金利、金属、穀物、農作物、エネルギー）への分散投資、及び金先物
組入制限	当ファンドのサブファンド「グリーン」の円・クラス、米ドル・クラス、シルバー円・クラス、シルバー米ドル・クラス資産はすべてスーパーファンド・グリーンSPCのシェア（株式）に、ゴールド円・クラス及びゴールド米ドル・クラス資産はすべてスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCのシェア（株式）に投資されます。	
分配方針	現段階では分配を行う予定はありません。但し、管理会社はその裁量で分配を決定する権利を留保しています。	

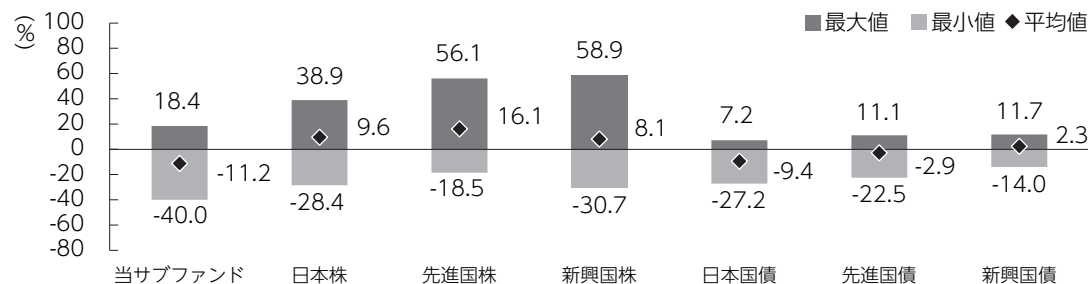
(参考情報)

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

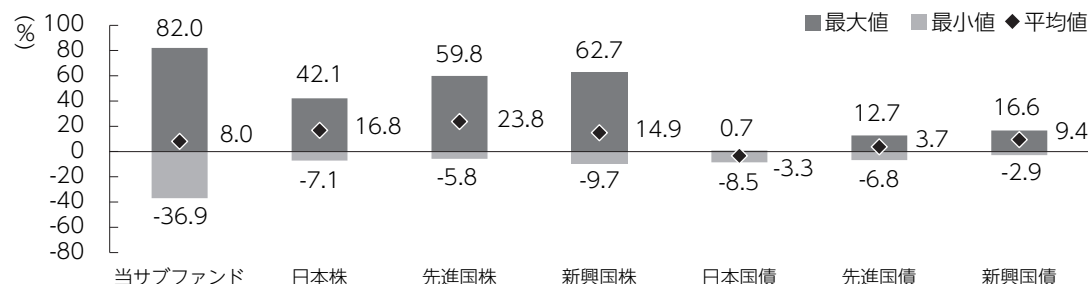
サブファンド・グリーン 円・クラス



サブファンド・グリーン 米ドル・クラス



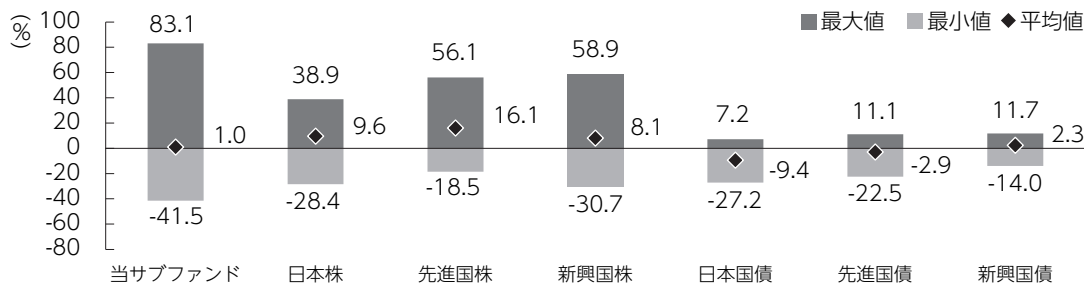
サブファンド・グリーン ゴールド円・クラス



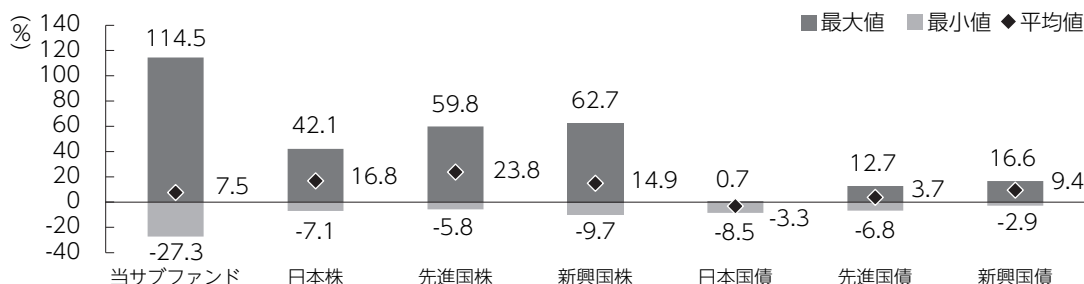
(注1) すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年1月から2025年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

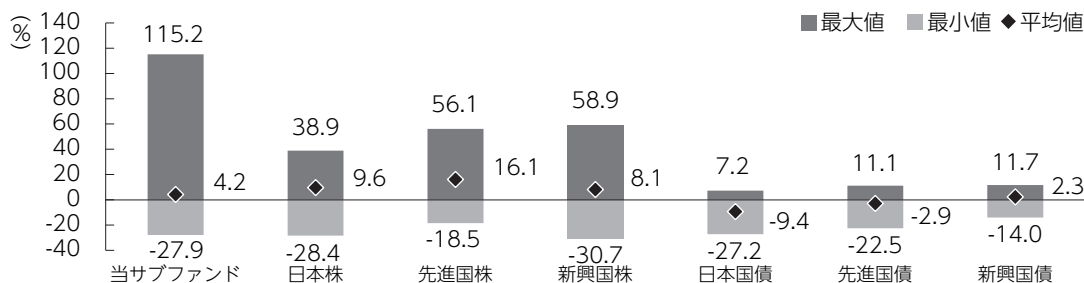
サブファンド・グリーン ゴールド米ドル・クラス



サブファンド・グリーン シルバー円・クラス



サブファンド・グリーン シルバー米ドル・クラス

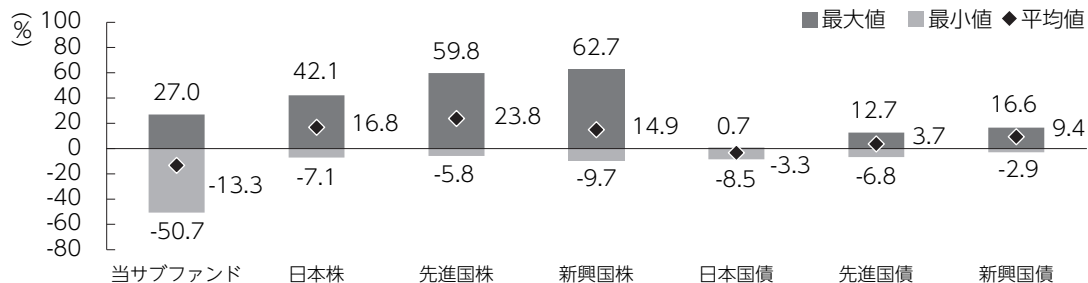


(注1) すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

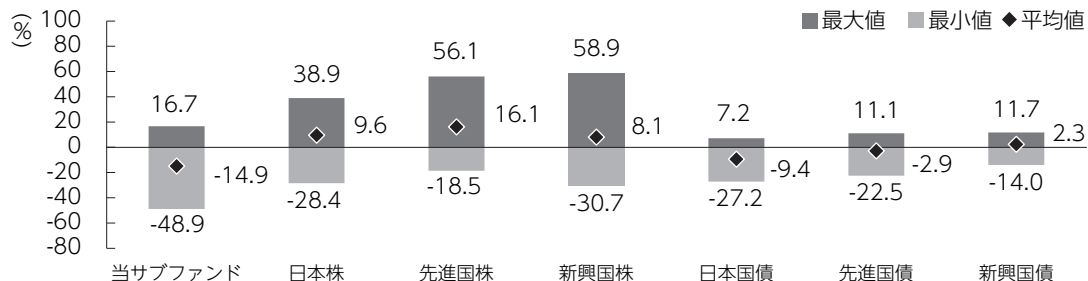
(注2) 2021年1月から2025年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

参考（2026年7月1日付にてサブファンド「トレンド」（旧名称：「グリーン」）に統合済み）

サブファンド・グリーンC 円・クラス



サブファンド・グリーンC 米ドル・クラス



(注1) すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年1月から2025年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

円・クラス／ゴールド円・クラス／シルバー円・クラス

日 本 株……東証株価指数（TOPIX）（配当込）
先進国株……MSCI-KOKUSAI指数（配当込）（円ベース）
新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込）（円ベース）
日本国債……FTSE日本国債インデックス（円ベース）
先進国債……FTSE世界先進国債インデックス（円ベース）
新興国債……FTSE新興国市場国債インデックス（円ベース）

米ドル・クラス／ゴールド米ドル・クラス／シルバー米ドル・クラス

日 本 株……東証株価指数（TOPIX）（配当込）
先進国株……MSCI-KOKUSAI指数（配当込）（米ドルベース）
新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込）（米ドルベース）
日本国債……FTSE日本国債インデックス（米ドルベース）
先進国債……FTSE世界先進国債インデックス（米ドルベース）
新興国債……FTSE新興国市場国債インデックス（米ドルベース）

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

ファンドデータ

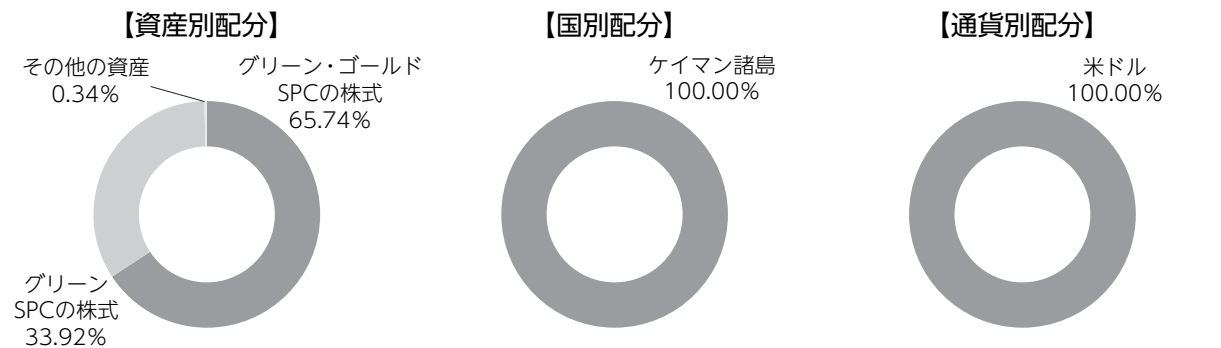
■ 当サブファンドの組入資産の内容 (2025年12月31日現在)

■ サブファンド・グリーン

【組入ファンド】 (組入銘柄数：2 銘柄)

資 産 の 種 類	組 入 比 率
スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの株式（クラスBジャパン（円）及びクラスBジャパン（米ドル）株式） （以下、本ページにおいて「グリーン・ゴールドSPCの株式」と表記）	65.74%
スーパーファンド・グリーンSPCの株式（クラスジャパン（円）株式、クラスジャパン（米ドル）株式、クラスシルバー（米ドル）株式及びクラスシルバー（円）株式） （以下、本ページにおいて「グリーンSPCの株式」と表記）	33.92%
現金、受取債権及びその他資産	0.34%

(注) 組入比率は、各クラスが各々対応するマスターファンドに高位に投資しておりますが、クラス毎の計算書類は存在しないため、サブファンドの財務書類の記載に基づき記載しています。以下グラフも同様です。



(注) 通貨別配分につき、通貨ヘッジはしておりません。

■ 純資産等 (2025年12月31日現在)

項 目	第 17 期 末
純 資 産 総 額	2,117,412,450円
発 行 済 口 数	14,875,317口
1 口当たり純資産価額	142.33円

(注1) 純資産総額及び発行済口数は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

(注2) 為替レート 1米ドル=159.04円 (2026年5月20日現在)

(注3) 当期中における追加設定元本額23,249,967円、一部解約元本額は947,305,829円です。

参考（2026年7月1日付にてサブファンド「トレンド」（旧名称：「グリーン」）に統合済み）

サブファンド・グリーンC

【組入ファンド】（組入銘柄数：1 銘柄）

資 産 の 種 類	組 入 比 率
スーパーファンド・グリーンSPCの株式（クラスCジャパン（円）株式及び クラスCジャパン（米ドル）株式） （以下、本ページにおいて「グリーンSPCの株式」と表記）	88.06%
現金、受取債権及びその他資産	11.94%

（注）組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。



（注）通貨別配分につき、通貨ヘッジはしておりません。

純資産等（2025年12月31日現在）

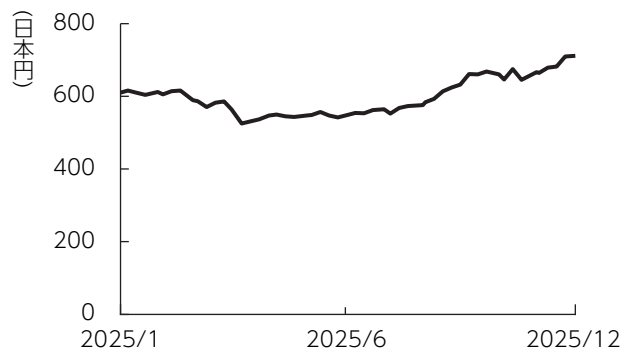
項 目	第 17 期 末
純 資 産 総 額	111,934,020円
発 行 済 口 数	2,383,017口
1 口当たり純資産価額	46.97円

- （注1）純資産総額及び発行済口数は、当サブファンドの財務書類の記載によります。
- （注2）為替レート 1 米ドル＝159.04円（2026年 5 月20日現在）
- （注3）当期中における一部解約元本額は17,114,400円です。

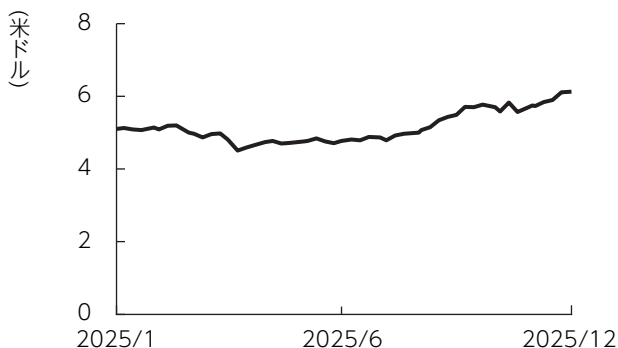
■ 投資先ファンドの概要 (2025年1月1日～2025年12月31日)

■ スーパーファンド・グリーンSPC (マスターファンド) 分別ポートフォリオB

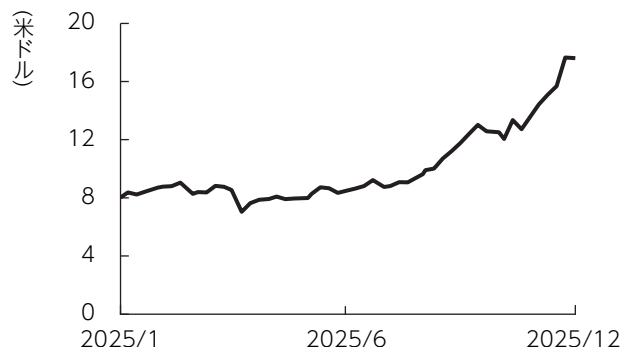
【クラスジャパン (円) の1口当たり純資産価額の推移】



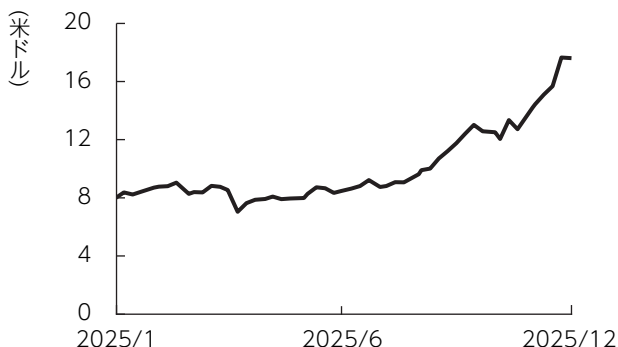
【クラスジャパン (米ドル) の1口当たり純資産価額の推移】



【クラスシルバー (円) の1口当たり純資産価額の推移】



【クラスシルバー (米ドル) の1口当たり純資産価額の推移】



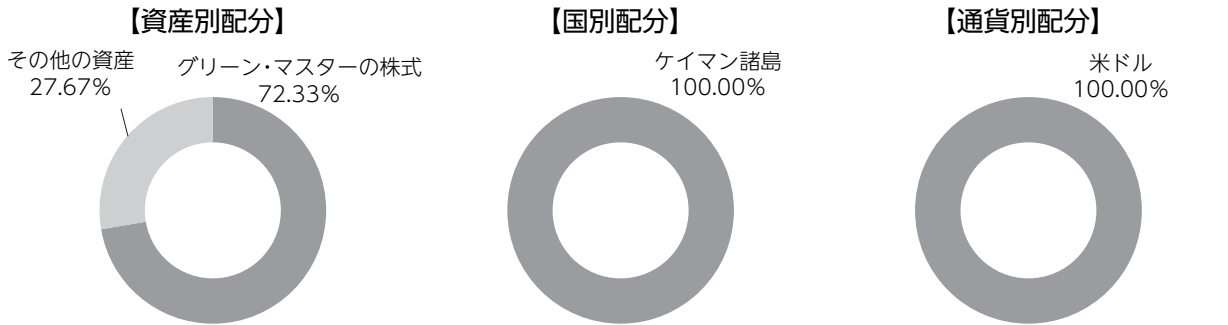
【保有銘柄情報】 (組入銘柄数：1銘柄)

資産の種類	組入比率
スーパーファンド・グリーン・マスターの株式 (以下「グリーン・マスターの株式」と表記)	72.33%
現金、受取債権及びその他の資産	27.67%

【費用の明細】（2025年1月1日～2025年12月31日）

項 目		項 目 の 概 要
管 理 報 酬	分別ポートフォリオB・クラスジャパン（円）、クラスジャパン（米ドル）、 クラスシルバー（円） 及びクラスシルバー（米ドル） 株式の純資産価額の年率2.00%	
	分別ポートフォリオB・クラスジャパン（円）、クラスジャパン（米ドル）、 クラスシルバー（円） 及びクラスシルバー（米ドル） 株式の純資産価額の増加額のうち毎月20% （銀価格の上昇のみに起因する価額増加を排除したハイウォーターマーク方式を適用）	
販 売 会 社 報 酬	販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8%	
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬	分別ポートフォリオBにつき年間5,400米ドル
	年次財務諸表の作成	スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 0.51%	

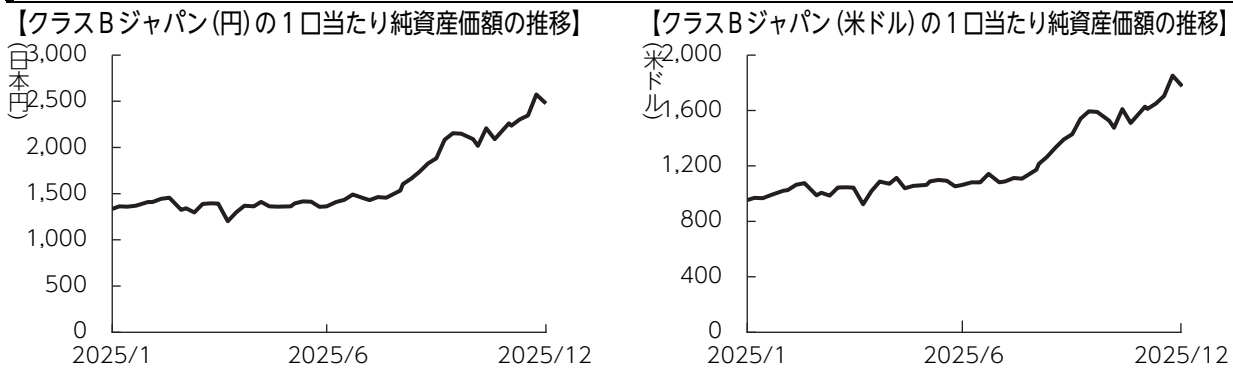
（注）各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。



（2025年12月31日現在）

（注）通貨別配分につき、通貨ヘッジはしておりません。

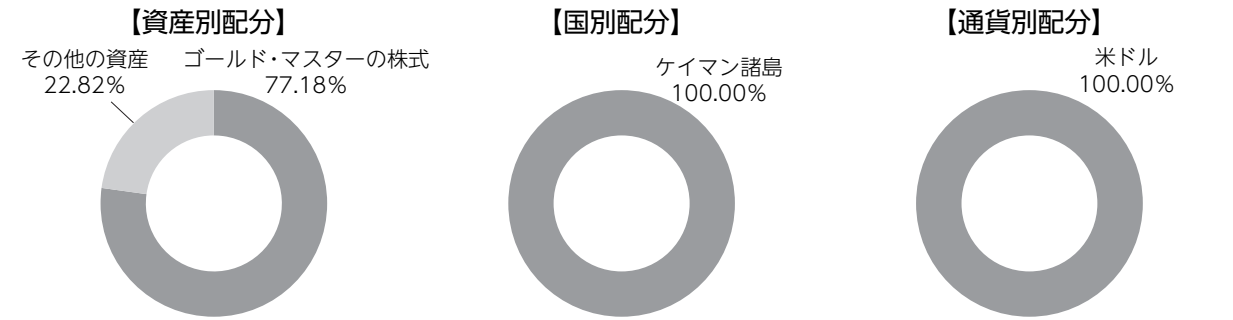
スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC（マスターファンド）分別ポートフォリオB



保有銘柄情報（組入銘柄数：1銘柄）	
資産の種類	組入比率
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの株式（以下「ゴールド・マスターの株式」と表記）	77.18%
現金、受取債権及びその他の資産	22.82%

費用の明細（2025年1月1日～2025年12月31日）	
項目	項目の概要
管理報酬	分別ポートフォリオB・クラスBジャパン（円）株式及びクラスBジャパン（米ドル）株式の純資産価額の年率2.00%
成功報酬	分別ポートフォリオB・クラスBジャパン（円）株式及びクラスBジャパン（米ドル）株式の純資産価額の増加額のうち毎月20%（但し、ハイウォーターマーク方式を適用）
販売会社報酬	販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8%
事務管理報酬	事務管理報酬 分別ポートフォリオBにつき年間5,700米ドル 年次財務諸表の作成 スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 0.25%

（注）各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。



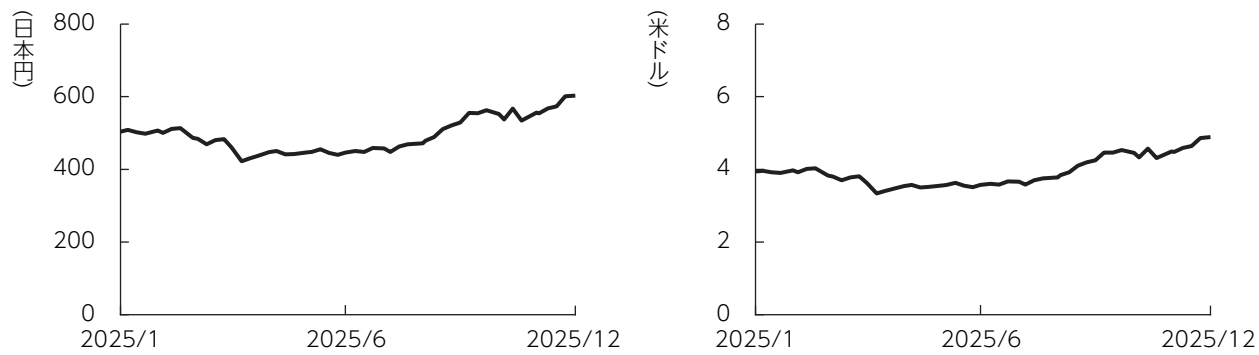
（注）通貨別配分につき、通貨ヘッジはしていません。

（2025年12月31日現在）

サブファンド・グリーンCは2026年7月1日にサブファンド・トレンド（旧名称：サブファンド・グリーン）に統合されましたが、参考までにそのマスターファンドの情報を掲載します。

スーパーファンド・グリーンSPC（マスターファンド） 分別ポートフォリオC

【クラスCジャパン（円）の1口当たり純資産価額の推移】 【クラスCジャパン（米ドル）の1口当たり純資産価額の推移】



【保有銘柄情報】（組入銘柄数：1 銘柄）

資 産 の 種 類	組入比率
グリーン・マスターの株式	96.00%
現金、受取債権及びその他の資産	4.00%

【費用の明細】（2025年1月1日～2025年12月31日）

項 目	項 目 の 概 要	
管 理 報 酬	分別ポートフォリオC・クラスCジャパン（円）及びクラスCジャパン（米ドル）株式の純資産価額の年率2.00%	
成 功 報 酬	分別ポートフォリオC・クラスCジャパン（円）及びクラスCジャパン（米ドル）株式の純資産価額の増加額のうち毎月20%（但し、ハイウォーターマーク方式を適用）	
販 売 会 社 報 酬	販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8%	
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬	分別ポートフォリオCにつき年間5,400米ドル
	年 次 財 務 諸 表 の 作 成	スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 1.35%	

（注）各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。



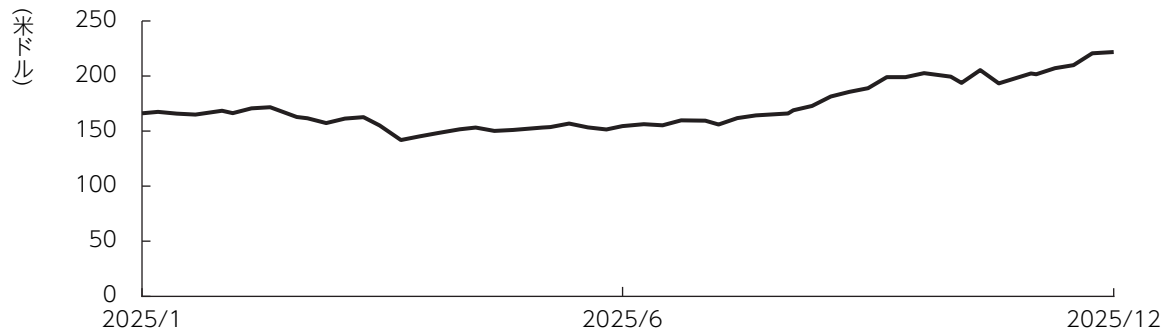
（注）通貨別配分につき、通貨ヘッジはしておりません。

（2025年12月31日現在）

■ 投資先ファンドの概要 (2025年1月1日～2025年12月31日)

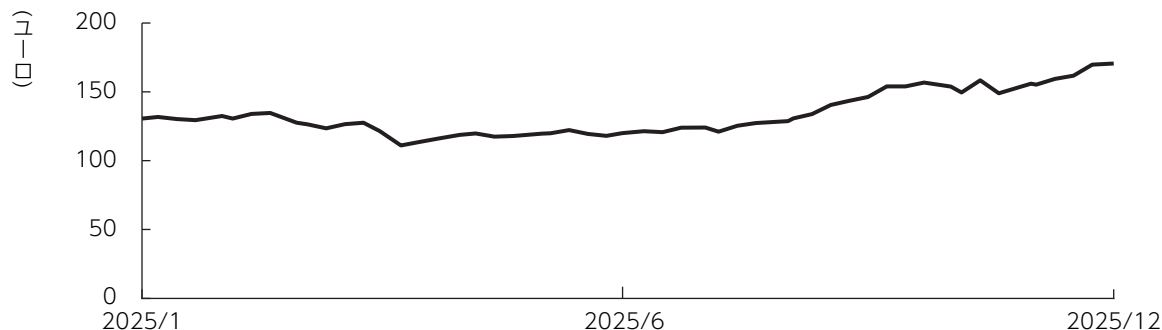
■ スーパーファンド・グリーン・マスター (アンダーライング・マスターファンド) クラスB

【1口当たり純資産価額の推移】



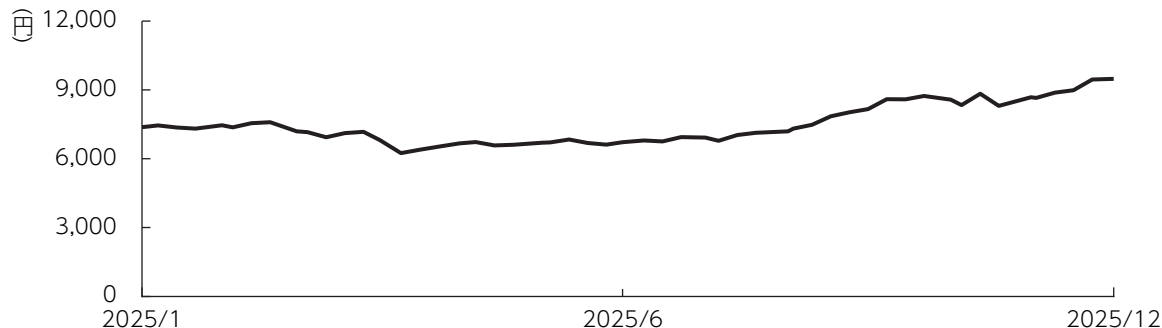
■ スーパーファンド・グリーン・マスター (アンダーライング・マスターファンド) クラスC

【1口当たり純資産価額の推移】



■ スーパーファンド・グリーン・マスター (アンダーライング・マスターファンド) クラスE

【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】

(2025年1月1日～2025年12月31日)

項 目		項 目 の 概 要
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬	純資産の4.2ベースポイント／年間0.042％ (毎月4.2ベースポイントの12分の1) 但し、各ファンドにつき最低毎月1,500米ドル ファンドの純資産の50百万米ドルを超える部分：2.45ベースポイント ファンドの純資産の100百万米ドルを超える部分：0.7ベースポイント
	年次財務諸表の作成	スーパーファンド・グリーン・マスターにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	信託事務の処理に要する諸費用 0.82％	

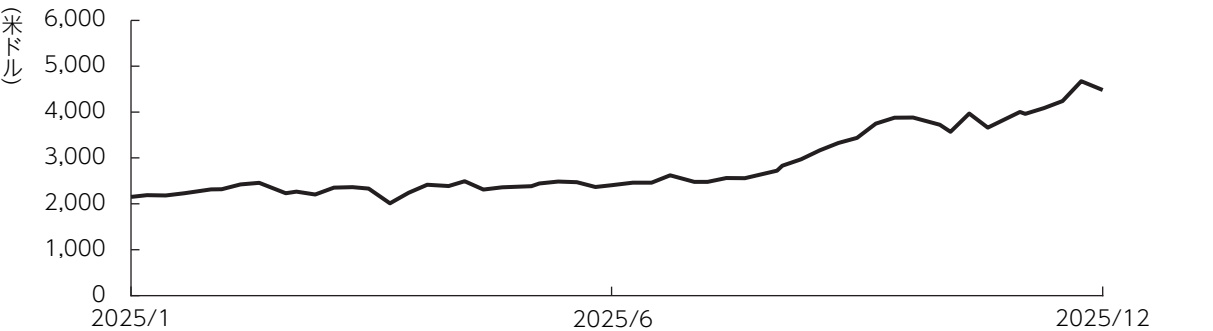
(注) 各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、【資産別配分】、【国別配分】及び【通貨別配分】については、アンダーライング・マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2025年12月31日現在)

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC（アンダーライング・マスターファンド）

【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】

(2025年1月1日～2025年12月31日)

項 目	項 目 の 概 要	
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬	純資産の4.2ベースポイント／年間0.042% (毎月4.2ベースポイントの12分の1) 但し、各ファンドにつき最低毎月1,375米ドル ファンドの純資産の50百万米ドルを超える部分：2.45ベースポイント ファンドの純資産の100百万米ドルを超える部分：0.7ベースポイント
	年次財務諸表の作成	スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	信託事務の処理に要する諸費用 0.30%	

(注) 各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、【資産別配分】、【国別配分】及び【通貨別配分】については、アンダーライング・マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2025年12月31日現在)